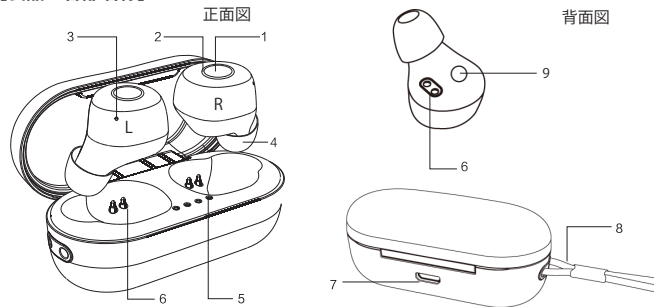


この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書には、製品使用方法、取扱上での注意事項を説明しています。ご使用になる前に必ず本書をお読み頂き、本製品の特性操作法等を理解した上でご利用下さい。本書に正確な情報を記載するように努めました。誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。本書に記載されている情報及び本製品の仕様は、改善のため予告なしに変更される場合がございます。本書に記載の社名や製品名は各社の商標又は登録商標です。

【製品の同梱物】

- ・イヤホン本体(L/R) ・充電ケース ・充電用USBケーブル ・イヤピース(S/M/L)
- ※Mは出荷時製品に装着された状態となります。 ・取扱説明書(本書)

【製品の各部名称】



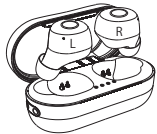
1:イヤホンタッチ操作部 2:イヤホンLEDインジケータ 3:マイク穴 4:イヤピース
5:充電ケースLEDインジケータ 6:充電端子部 7:充電用MicroUSBポート 8:ストラップ
9:イヤホンL(左)/R(右)確認用印字部

【製品本体の充電方法】

製品ご購入後、使用を開始する前に、必ずイヤホンと充電ケースの充電を行ってください。本製品はケース部にバッテリーが搭載されており、イヤホンを収納する事により充電がされます。

●イヤホン部の充電方法

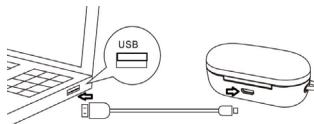
①イヤホンのL(左)とR(右)に注意し、イヤホンの充電端子部と充電ケースの充電端子部が接触する様に正しい向きで収納します。



②充電ケースに収納し、充電が開始されるとイヤホンのLEDインジケータが赤く点灯します。両イヤホンのLEDインジケータが消灯すると、イヤホンの充電は完了です。

●充電ケース部の充電方法

①充電ケースの裏面にあるMicroUSBポートに付属のUSB充電ケーブルを接続し、USBチャージャーやパソコン等の充電が可能なUSBポートに接続をします。



②充電ケースを充電時、ケース本体のLEDインジケータが点滅します。LEDインジケータが4つ全て点滅から点灯に代われば、充電完了です。

《充電時の注意点》

※手や製品に水分が付着している場合は必ず乾いたやわらかい布などで水分を取り除いてから充電を行ってください。水分が付いたまま充電を行うと事故や故障の原因となります。

※充電の際は必ず付属のUSBケーブルをご利用下さい。又、接続の際はUSB端子の向きに十分注意してください。USB端子部に無理な力を加えると機器の破損の原因となります。

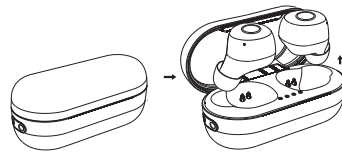
※充電時、急速充電器はご使用にならないで下さい。製品の破損、火災の原因になる場合がございます。

※充電ケースのバッテリー残量が無い状態でイヤホンと充電ケースを同時に充電する場合は、先に充電ケースを充電が可能なUSBポートに接続した後に、イヤホンを収納してください。

【イヤホン同士のペアリング方法】

ご購入後、製品を初めて使用する場合、及びにイヤホンをリセットした場合は、下記方法でイヤホン同士のペアリングを行います。

- ①充電ケースからイヤホンL(左)とR(右)を同時に取り出し、イヤホン同士を近づけます。
- ②接続音の後、左右のイヤホン同士がペアリングされます。
- ③イヤホンLがゆっくり青点滅、イヤホンRが赤と青に点滅すれば完了です。イヤホンを充電ケースに戻し、再生機器とペアリングを行います。



【製品を再生機器とペアリング方法】

本製品をスマートフォン等の再生機器とペアリング設定を行い接続します。本製品は両耳モードおよびに左・右片耳モードが利用できます。

●両耳モードで使用する方法

- ①充電ケースからイヤホンR(右)を先に取り出した後、イヤホンL(左)を取り出します。接続音の後、左右のイヤホンが接続されます。
- ②イヤホンR側がペアリングモード(イヤホンLEDインジケータが赤と青に点滅)になるまで待ちます。
- ③スマートフォン等の再生機器側のBluetooth設定を開き、BluetoothをONにします。
- ④再生機器側のBluetooth設定上でデバイス検索を実行し、一覧より本製品「MTW-BT5」を選択します。接続されるとイヤホンより「コネクテッド」という音声か鳴り、ペアリング完了です。左右イヤホンのLEDインジケータがゆっくりと青点滅になります。
- ⑤以降、両耳モードで使用する場合、充電ケースからイヤホンRを先に取り出した後にイヤホンLを取り出して下さい。自動で最後にペアリングされた再生機器と接続されます。(再生機器側が通信範囲内にあり、BluetoothがONになっている必要があります。)

●左・右片耳モードで使用する方法

本製品はイヤホンR(右)がホストと定義され、イヤホンL(左)がサブになります。左・右片耳モードで使用する場合は、事前に必ず再生機器と上記「両耳モード」のペアリングを完了させて下さい。

イヤホンR(右)を片耳モードで使用する場合、イヤホンRのみを充電ケースから取り出すだけで自動で片耳モードになります。

イヤホンL(左)を片耳モードで使用する場合は、下記の方法でイヤホンと再生機器のペアリングを行ってください。

- ①充電ケースからイヤホンLのみを取り出し、イヤホンLがペアリングモード(イヤホンLEDインジケータが赤と青に点滅)になるまで待ちます。
- ②スマートフォン等の再生機器側のBluetooth設定を開き、BluetoothをONにします。
- ③再生機器側のBluetooth設定上でデバイス検索を実行し、一覧より「MTW-BT5 L」を選択します。接続されるとイヤホンより「コネクテッド」という音声か鳴り、ペアリング完了です。

※再生機器とペアリング後、イヤホンLのみを使用時、イヤホンLはサブとなりますため、メインのイヤホンR使用時よりも自動接続に若干時間がかかります。

※両耳モードで使用する場合は、イヤホンRを先に取り出した後にイヤホンLを取り出して下さい。

※両耳モードで再生機器とペアリングを実行前に、イヤホン左を片耳モードでペアリングを行った場合、イヤホンが両耳モードで動作しなくなる場合がございます。その場合はイヤホンのリセットを行ってください。(本書裏面参照)

《ペアリング作業時の注意点》

※Bluetooth新規デバイスの検索方法はご利用になられている再生機器により方法が異なります。再生機器側の設定方法がわからない場合は、再生機器側の製造元へお問い合わせ下さい。

※ペアリング作業時、新規デバイス検索で本製品がデバイス一覧に表示されない場合は、再生機器側でデバイスの再検索を実行するか、再生機器側のBluetoothを一度OFFにし、イヤホンを充電ケースに戻してから、再度最初からやり直して下さい。

※ペアリング作業は製品の電源ON後、2分以内に行ってください。本製品はイヤホン省電力のため、再生機器と接続をされていない状態の場合、一定時間が経過すると自動で電源がOFFになります。電源をONにする場合はイヤホンを充電ケースに一旦戻した後に再度やり直して下さい。

※既に本製品とペアリング設定済みの再生機器と自動接続ができなくなった場合は、一度再生機器側のBluetooth設定で、本製品のペアリング情報を解除してから、再度ペアリング設定をやり直して下さい。

※現在とは別の再生機器とペアリングを行う場合は、現在の再生機器と本製品が接続されていない事を確認してから実行してください。本製品が他の機器と接続中の場合、ペアリングが行えません。

【イヤホンの電源On/Off方法】

●自動で電源On/Off

イヤホンL/Rを充電ケースから取り出し/収納すると、イヤホンの電源が自動でOn/Offになります。

●手動で電源On/Off

イヤホンL/Rの電源がOff時、イヤホンのタッチ操作部を3秒間長押しすると電源Onになります。

イヤホンL/R電源ON時、イヤホンLEDインジケータが青のみ点灯、又は点滅時にタッチ操作部を10秒間長押しするとイヤホンが電源Offになります。

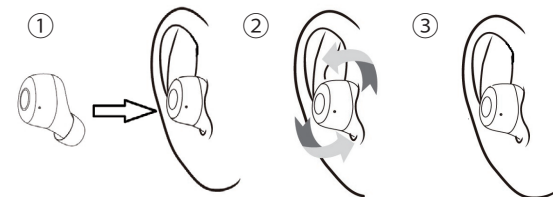
※本製品は再生機器と未接続時、一定時間経過後に自動でイヤホンの電源がOffになります。

【イヤホンの取り付け方法】

ペアリングが完了したら、イヤホンを耳に装着します。イヤホンは本体裏面に記載をされているL(左)とR(右)の表示を確認し、正しく装着してください。出荷時に装着されているイヤピースはMサイズとなりますが、もしも大きさが合わない場合は、付属の別サイズの物と交換して下さい。耳との固定が甘いと再生音楽の低音部が出にくくなったり、使用途中に製品が落下し、紛失または破損の原因につながります。

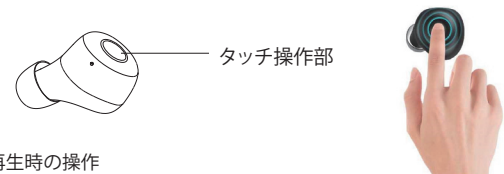
下記イラストの方法で、L(左)とR(右)に注意しイヤホンをしっかりと装着して下さい。

- ①イヤホンを下記図の向きで耳に装着します。
- ②イヤホンの頭部分を持ち、前後にねじりながら耳奥に固定します。
- ③耳にフィットする様に微調整をしたら装着完了です。※左右の取り付け方法は同じです。



【本製品の操作について】

本製品は、両イヤホンL(左)とR(右)の中心部にタッチセンサーが搭載されており、この部分を画像の様に指先で力を入れて軽くタップを行う事により操作を行います。タップとは、タッチ操作部を指で軽く触れた後にすぐ離す動作を意味します。



●音楽再生時の操作

- ◇再生/一時停止・・・イヤホンL又はRのタッチ操作部を1回軽くタップ
- ◇曲送り・・・イヤホンRのタッチ操作部を2回軽くタップ
- ◇曲戻し・・・イヤホンLのタッチ操作部を2回軽くタップ
- ※片耳モードで使用している場合、曲送り/曲戻し操作はどちらか片方のみとなります。

●通話時の操作

- ◇電話を受ける・・・イヤホンL又はRのタッチ操作部を1回軽くタップ
- ◇電話を切る・・・イヤホンL又はRのタッチ操作部を1回軽くタップ
- ◇着信拒否・・・イヤホンL又はRのタッチ操作部を2秒間長押し
- ※片耳モードで使用時、音楽の再生・通話の音声は片側のみとなります。

●音声アシスタントの操作(Siri等)

- ◇起動・・・イヤホンL又はRのタッチ操作部を3回軽くタップ
- ◇停止・・・イヤホンL又はRのタッチ操作部を1回軽くタップ

※タッチ操作に関して、初めてご使用頂く場合等、操作に慣れていない場合、タッチのタイミング等により誤操作が発生する場合がございますが、製品の故障ではございません。操作に慣れる事により、改善されます。

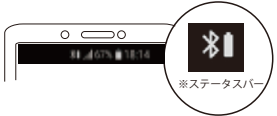
【バッテリー残量の表示について】

■充電ケース部
イヤホン充電時、又は充電ケースにイヤホン収納をした時に充電ケース内部のLED点灯で確認できます。バッテリー残量は4段階のLEDの点灯で表示をされ、LEDが4つ全て点灯時バッテリー残量が大〜1つのみ点灯時バッテリー残量が小となります。バッテリー残量が殆ど無くなった場合、LEDが1つのみ素早く点滅しイヤホンの充電ができなくなります。バッテリー残量が低下した場合は、早急に充電ケースを充電してください。

※充電ケースのバッテリーが完全に消費されると、イヤホンを充電ケースから取り出し又は収納しても自動で電源ON/OFFができなくなります。手動でイヤホンの電源をON/OFFするか、充電ケースの充電を行ってください。

■イヤホン部

Bluetoothデバイスの電池表示に対応しているスマートフォン等の再生機器と接続されている場合、ステータスバーの表示を確認下さい。
※一部のスマートフォン・タブレットのみ表示されます。



※イヤホンLRのバッテリー残量が少なくなると、イヤホンより「バッテリーLow」という音声が届り、暫くするとイヤホンの電源が自動でオフになります。イヤホンを充電ケースに収納し、充電を行ってください。

※本製品を長時間使用しなかった場合、内蔵されている電池の性能が低下する場合がございます。本製品を長時間使用しない場合は、月に1回を目安に充電を行ってください。

【イヤホンのリセット方法】

イヤホンのバッテリー残量があるにも関わらず、左右のイヤホン同士が正常に接続されなくなった場合はイヤホンのリセットを実行してください。
イヤホンのリセットは、左右両方のイヤホンを1セットで行う必要があります。

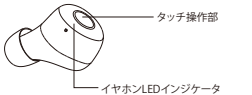
リセットを行う際は、製品が再生機器とBluetooth接続されていない事を事前に必ず確認して下さい。再生機器とBluetooth接続をされている場合、リセットが行えません。

①充電ケースの蓋を開き、はじめにイヤホンを取り出します。

②イヤホンのLEDインジケーターが赤と青の点滅になるまで待ちます。

③イヤホンLEDが赤と青の点滅に変わったら、イヤホンのタッチ操作部を8秒間長押しします。イヤホンLEDインジケーターが素早く2回赤く点滅の後消灯し、イヤホンがリセットされます。

④イヤホンを充電ケースに戻します。



⑤同様の方法でイヤホンRのリセットも行ってください。

⑥左右両方のイヤホンのリセットが完了したら、充電ケースから両イヤホンを同時に取り出し、イヤホン同士を近づけると、イヤホン同士がペアリングされます。

⑦イヤホンのLEDインジケーターがゆっくり青点滅、イヤホンRが赤と青の点滅になればリセットは正常に完了しています。イヤホンを充電ケースに戻した後、再生機器とペアリングを実行してください。

※リセット後、再生機器とペアリング作業がうまくいかない場合は、再生機器側のBluetooth設定で、本製品の以前のペアリング情報を解除してから、再度新規にペアリング作業を実行して下さい。古いペアリング情報が残っている場合、正常にペアリングが行えない場合がございます。

【通信時の注意点】

※本製品の通信距離は約10mとなりますが、通信圏内においても障害物の影響により、通信が遮断される場合があります。その場合は接続機器が置いてある場所に近づいて下さい。※本製品は2.4GHz帯の電波を使用しております。電波の特性上WiFiアンテナが多く設置されている場所や満員電車の中等、2.4GHz帯の仕様密度が高く障害物等が多い場所等では通信が途切れたりする場合がございますが、商品の不良ではございません。

【お手入れの方法】

本製品はIPX5相当の防汗相当の仕様です。突然の雨や汗、水しぶきからイヤホンを守ります。本体に付いた水分や汗等はご使用後に乾いたやわらかい布などでふき取ってください。※充電ケースは防汗仕様対応ではありません。
※本製品は水中やお風呂での使用及びに水洗いできません。

【取扱上の注意】

■安全のため、本製品を使用する際は、以下の重要な事項を必ずお守り下さい。

●警告

下記に記載された事項を無視した場合、使用者が死亡又は障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険がございます。

■本製品を車や自転車等の運転中に使用しないで下さい。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、踏切、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況を十分に確認して下さい。

■内部に水や異物をいれないで下さい。本製品はIPX5相当の防汗性能がありますが、IPX5相当を超える環境にさらされた際に水や異物が入り、火災や感電の原因となります。

■本製品を分解しないで下さい。故障、感電や火災、やけどの原因となります。

■充電が完了したら必ず充電用USBケーブルを取り外して下さい。又、充電に必要な充電時間を終えて充電が完了しない場合でも、一旦充電用USBケーブルを取り外して下さい。所定の充電時間を越えて充電した場合、バッテリーが発熱・発火・破裂をする危険があります。また電池の寿命に影響を与える場合がございます。

■付属のUSBケーブル以外使用しないで。過熱などによる火災の原因となる場合があります。

■本製品を高温のまま放置しないで下さい。高温多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けて下さい。また、車の中には絶対に放置をしないで下さい。この機器を車内に長時間放置放置しておくバッテリーの破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。又、周辺の温度変化が激しいと、内部結露によって誤動作をする場合がございます。

■製品より異臭や煙が出た時は直ちに使用を中止してください。充電中の場合は付属の充電USBケーブルを引き抜いて下さい。その後この機器は使用せず、サポートセンターにご連絡下さい。又バッテリーが液漏れした場合は素手で液を触らないで下さい。万が一液が目や皮膚に入った場合は水道水等の綺麗な水で十分洗い、医師の治療を受けて下さい。

▲注意

下記に記載された事項を無視した場合、使用者が怪我をしたり、もしくは物的損害を負う恐れがございます。

■大音量で長時間続けて聞かないで下さい。大音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える危険があります。耳を守るため、音量を上げ過ぎない様にご注意ください。

■本製品は日本国内専用です。海外では独自の電波使用規定が定められている為、この機器を使用した場合、罰せられることがあります。

■始めから音量を上げ過ぎないで下さい。突然大きな音が出て、耳を傷める恐れがあります。

■小さなお子様の手の届く場所に保管をしないで下さい。誤飲等事故を招く可能性がございます。

■病院内や航空機の中で使用をしないで下さい。電波が病院内や航空機の計器類に影響を与える恐れがございます。

【電波に関する注意事項】

■本製品の使用周波数帯は2.4GHzとなり、この周波数帯は電子レンジ等の産業・科学・医療機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）で運用されています。本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局で運用されていない事をご確認下さい。この機器の使用周波数帯無線LAN機器（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯を使用しているため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると電波干渉のためノイズや音切れが発生する場合がございます。その場合は無線機器から10M以上離れてご利用下さい。

【バッテリーについて】

■本製品に内蔵をされているバッテリーは消耗品となり、正常に使用をした場合でも期間と共に劣化をしていきます。劣化の状態はバッテリー自身の特性であり、故障ではありません。本製品を使用をせずに長期間保管していた場合、バッテリー性能が低下をします。その場合は充電電を数回繰り返して下さい。周囲温度が低い環境下で使用する時、バッテリーの特性により最大動作時間が短くなる場合がございます。

■本製品はリチウムポリマー電池（Li-PO）が使用されております。本製品を破壊する時は、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容につきましては、各地方自治体にお問い合わせ下さい。

【製品仕様】

製品型番	MTW-BT5BK（ブラック）/MTW-BT5WH（ホワイト）	
通信方式	Bluetooth5.0 Ver2.0	
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP	
通信距離	約10m(使用環境によって異なります)	
周波数範囲	2.4GHz	
対応コーデック	SBC、AAC	
ドライバーユニット	ダイオミク型Φ6mm	
充電時間	充電ケース：約55分	イヤホン：約1.5時間
内蔵電池	充電ケース：リチウムポリマー電池 300mAh	イヤホン：リチウムポリマー電池 55mAh
最大使用時間	通話・音楽再生：約4.5時間	
	充電ケース使用時：通話・音楽再生：約1.5時間 イヤホンを約2.5回充電が可能	
音圧感度	91dB±3dB	
入力インピーダンス	16Ω	
再生周波数	20Hz-20000Hz	
通話方式	ステレオ	
マイク感度	-42±1dB,f=1KHZ,0dB=1V/Pa	
その他	IPX5相当の防汗設計※イヤホン部のみ	
サイズ・重量	充電ケース：66x30x30mm/約28g イヤホン：20x22mm/約5g（片方のみ）	
対応機種	対応プロファイルを持つBluetooth対応スマートフォン・タブレット・オーディオ機器等	
登録可能端末数	最大8台	
使用温度範囲	-10~40℃	

【保証規定】

■本製品の保証は製品本体部のみとなります。付属品は保証修理対象外となります。

■本説明書の内容に沿った正常な使用方法で保証期間内に製品が故障した場合は、保証規定に従い無償修理及びに交換対応を致します。

■製品の初期不良期間はご購入日より1週間となります。

■保証期間内でも以下の場合には保証対象外となります。

①本保証書の提示が無かった場合、及びに所定事項の未記入あるいは字句を訂正された場合②ご購入日の確認できる証明書（レシート・納品書等）や故障した機器をご提示頂けない場合③一般家庭・一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度・湿度・振動等により故障した場合④火災、地震、風水害、落雷等の天災要因により故障した場合⑤使用方法の誤り、及びに他の機器から受けた障害、又は当社以外の不当な修理、改造による故障の場合、⑥製品の紛失及びに経年使用によりバッテリーの消耗・摩耗した部品の保証依頼の場合、⑦接続している機器の不都合により本製品に故障が生じた場合⑧お買い上げ後の運送、移動時の落下等により生じた紛失、故障、損傷の場合。

■本製品の故障に起因する間接的及びに精神的障害、逸失利益、並びにデータ損失等の損害の保証にしましては弊社では一切責任を負いかねます。

■製品修理にかかる付帯費用（お客様が製品発送の際の運賃、設置工事費、人件費）については、弊社は一切の費用負担は行いません。また、ご送付頂く際は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（宅配便や簡易書留等）をご利用下さい。尚、弊社は運送中の製品の破損紛失については一切の責任を負いかねます。

■本保証書は再発行は致しませんので、大切に保管して下さい。

■本保証規定に基づく保証は日本国内でのみ有効です。

型番	★販売店へ この保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずお買い上げ日・販売店名・ご住所・電話番号をご記入またはご捺印の上、お客様へお渡し下さい。	
御購入日	ご購入日より1年間	
保証期間	ご購入日より1年間	
お客様	お名前	住所・店名
	おとこ ろ 〒	販売店
	TEL ()	TEL

製品に関するお問い合わせ

mathey 株式会社デンノー
〒335-0002
埼玉県東家塚越 5-14-8

製品サポート
048-446-7182
support@mathey.jp

月～金 10:00～18:00
(土日祝指定休業日を除く)